

保護者アンケート質問事項	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	3	1	0	4	デイサービスの部屋を見たことがないから みたことないのでわからない	見学の機会を設け、事業所の様子をお伝えできるように検討します。
職員の配置数は適切であると思いますか。	3	0	0	5	職員の数を知らないから	職員配置について、ご説明の機会を検討いたします。お気軽にスタッフへお問い合わせください。
生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	3	0	0	5	部屋を見たことがないから	見学の機会を設け、事業所の様子をお伝えできるように検討します。
生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	4	0	0	4	部屋を見たことがないから 施設や利用状況をそこまで知りません	見学の機会を設け、事業所の様子をお伝えできるように検討します。
こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	5	3	0	0		
事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	6	0	0	2		
こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	7	0	0	1		
放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	5	1	0	2		
放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	6	0	0	2		
事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	4	1	0	3		
放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	2	0	3	3		
事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	8	0	0	0		
「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	6	1	0	1		
事業所では、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	6	1	0	1		
日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	7	1	0	0		
定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	7	0	1	0	デイサービス職員との面談はないから	職員との面談機会について、今後の参考にさせていただきます。
事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	7	0	0	1		
父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	2	2	2	2		
こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	4	0	0	4		
こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	7	1	0	0		
定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	6	1	1	0		
個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	6	0	1	1	違う保護者宛の連絡が私の所にメールで 来ました。	個人情報に関するご指摘、ご迷惑をおかけし申し訳ございません。再発防止に努めます。
事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	4	1	0	3		
事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	3	1	0	4		
事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	3	0	0	5		
事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	2	1	0	5		
こどもは安心感をもって通所していますか。	6	2	0	0		
こどもは通所を楽しみにしていますか。	5	3	0	0	好きなプログラムの時だけ参加したい うだ	プログラム参加についてのご意向、今後の支援計画の参考にさせていただきます。
事業所の支援に満足していますか。	6	2	0	0		

実施期間 2025/3/24-3/27

施設 Groupup/ハレ

従業員アンケート設問	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善が必要な点
利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	0	特になし	利用者様が高校生となると、とくに異性の利用者様同士の距離をもう少し保てようとするスペースが必要。 特になし
利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	3	2	事前に配置を考えている こどもの状態を把握し十分な支援が提供できるよう職員の休憩時間等をずらして取得、朝の打ち合わせで一人ひとりの動きを全体に周知する 特になし	ドライバーが必要な場合がある 職員が少なからずかもしれない。実際に活動支援する方法や職員配置を確認する必要がある。 利用者様が利用したいと思ってもらえるよう努めたたくさんの方が利用された場合、職員の数が足りなくなるため結果きめ細やかな支援が困難になる。 あらゆる工夫はしているが加配が必要 職員の人員が不足している。 現時点では適切だと思うが、今後の人数を考えた人員配置は必須だと思う。
生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に並び、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	0	個の居場所がある空間づくり こどもの動線を考慮して、様々な家具や物の配置を工夫し生活空間を作っている。	ハレの場所が変わったので備品配置に改善していく必要がある 利用者様がいつでもその日の流れを自分で確認できるように視覚提示が特になし
必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4	1	事前に知らせている 面談室を設けている 1 体験スペースなどこどもが平等に使えるよう配慮されている。	利用者様への目が届かなくなるリスクを考えると個別の部屋の使用は避けたい。今までハレでは自他害などでケルダウンが必要となった人はあまりいないが、一人で落ち着けるスペース、空間は必要。 特になし
業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	4	1	月に一度支援会議を行ったり、朝礼で情報共有をしている。 情報共有するよう努めている タイミングや言葉に気をつけて支援のし直しをした結果を記録するなどの努力はしている。 1 特になし	適正な仕事配分 何人の中での努力はあるが、振り返る時間、シェアリングする時間が少ない。しかし現状その機会を設けることはハレでは困難。 職員全員の意見を吸い上げるべき。
保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3	2	個別に聞いたことには対応している 保護者面談を行っており、保護者と連携しながら生徒の進路指導をしている。 2 。	評価表のことは知らない 保護者向け評価表を見たことがない 面談の旨を職員間で共有しているが、改善までは至っていない。
職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	1	月に一度支援会議を行ったり、朝礼で情報共有をしている。 ミーティングによる情報共有 記録等で情報共有はできている。 1 特になし	スムーズかと言うと、もう少し努力が必要 職員それぞれのこれまでの経験やスキルなどを尊重し活かしながら進めたい。 できれば尚良い。 まずは職員の意見を平等に聞く、発言しやすい雰囲気を作るべき。 外部評価の結果を見たことがない 外部評価をやっているかどうかは、不明。
第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	2	不明	特により研修はしていない 研修内容は実践に活かすものでもあることが少なくない。 特定の職員だけでなく平等に外部の研修に参加するべき。
職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人等での研修を開催する機会が確保されているか。	4	1	研修を受講する機会はある。 1 様々なテーマで研修が組まれている。	個人・的でない不勉強ではあるが、「支援プログラム」という言葉に馴染みが無い。 作成されているのは知っているが、公表されているかどうかは知らない。
適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	3	2	1カ月前から利用者様にお伝えしている。 2 不明	計画の立て方、アセスメント、分析、計画作成を誰がどのような流れで行っているかわからない。
個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析し、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	3	2	アセスメントはしていないが、この要望と課題には対応している	計画の立て方、アセスメント、分析、計画作成を誰がどのような流れで行っているかわからない。
放課後等デイサービス計画を作成する際には、発達支援支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4	1	特になし	こどもの最善の利益を考慮して検討されているかは、疑問が残る。職員が感情を入れずに客観的にこどもの利益について検討すべき。
放課後等デイサービス計画が職員間にも共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4	1	特になし	計画ができたタイミングで周知してほしい。 計画は職員間で共有されているが、計画に沿った支援が行われているかは疑問が残る。職員の感情は抜きで支援するべき。
こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察などを含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	0	特になし	計画に沿った支援が行われているかは疑問が残る。職員の感情は抜きで支援するべき。
放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のいずれ及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4	1	特になし	考慮しているつもりだが、適切かどうかは判断できていない。 計画に含まれるべき項目などを知らなかった。
活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4	1	担当になった活動について、他の職員に相談できている。	全員の共通理解はできていないかもしれない。 まずは職員みんなの意見を聞くべき。
活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	0	継続して活動やステップアップさせていく活動を行っている 長期的な目標をもとに、どのような内容であれば楽しく参加していたか か、今回は何を伝えたいかとして考える。 0 現時点での利用者の雰囲気や特性を配慮し、活動案を決めている。	同じようなことになることはある。 活動の立案や準備などをするための時間がない。
こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	4	1	今後あらたな活動が増えるので、そこで個別活動が行える。	できるだけ時間を確保しているが、十分とはいえない。 より明確にする 役割分担や情報共有は出来ているが、一方的な報告で終わることが多い。 他の職員はほとんど発言しない。
支援開始前には職員間で必ず打ち合わせを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4	1	朝の打ち合わせし、勤務時間が異なる職員にもその内容が伝わるようにしている。 1 打ち合わせは毎日しており、そこで必要な情報は伝えられる。	できるだけ時間を確保しているが、十分とはいえない。 送迎によって振り返る時間が限られてしまうため、ドライバーの方がいるとよい。 支援終了後の打ち合わせはほとんどない。雑談でその場にいる職員同士話す程度。
支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、実行した点等を共有しているか。	3	2	毎日「必ず」ではないが、職員それぞれが手が空いたときに記録に入力している。	記録はしていても、課題についてその場にいる職員同士で話すが、検証・改善までには至らないことが多い。
日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4	1	日報 1 記録し、支援の検証、改善に努めている	記録はしていても、課題についてその場にいる職員同士で話すが、検証・改善までには至らないことが多い。
定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4	1	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	どの職員がどのようにモニタリングを行っているか見直しの必要性を判断しているかわからない。
放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	4	1	不勉強のため知らない	不勉強のため知らない
こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をするを育てるための支援を行っているか。	4	1	活動を通して自分の意見などを伝えるよう関わっている。	自己決定をできるよう支援するべきところが多いと思う。 また、職員の感情でこどもによって対応が違うのも疑問に思う。
障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	3	2	2 担当者会議などから聞かれているが、誰が参加しているか不明。	誰が参加しているのかわからない。
地域の保健、医療(主治医や協力医療機関等)、障害福祉、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	1	医療機関からの情報提供などが必要とされた際は、ご本人及び保護者1様の同意を得て、連携をきよう努めている。	まだまだ連携先はあると思う。内部だけで抱え込みすぎ。
学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか。	4	1	LINEを活用して文字、画像で連絡調整ができています。	高校生の利用者が多いため、中学校との連携、福祉・医療機関との連携は取っている 2 不明
就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等と間で情報共有と相互理解に努めているか。	3	2	不明	不明
学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5	0	不明	連携は回っていない。 機会一度もない。もっと様々な職員に様々な経験をさせるべき。
地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイザーや助言や研修を受ける機会を設けているか。	3	2	2 今とところSVが必要になってはいない。	連携は回っていない。 機会一度もない。もっと様々な職員に様々な経験をさせるべき。
放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	1	4	代表者が参加している	いつ行われているのかわからない
(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	1	4	代表者が参加している	いつ行われているのかわからない
日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	4	1	日々のケア記録とは別に月に1度は改めて様子をお伝えしている 必要があれば、地域連携機関につなげるなど相談できる場所を増やしている	必要があれば、地域連携機関につなげるなど相談できる場所を増やしている
家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	2	2 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。
通常規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	0	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点から、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点から、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。
「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5	0	放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。
家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4	1	折を見て保護者面談の実施を試みている。ニーズがあれば保護者面談を定期的にこなしている。	こちらからも保護者からもアプローチの機会は少ないと思う。
父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	2	3	折を見て保護者面談の実施を試みている。ニーズがあれば保護者面談を定期的にこなしている。	こちらからも保護者からもアプローチの機会は少ないと思う。
こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4	1	LINEを活用している。 1 行事があるたび、保護者に写真やメッセージを送っている。	LINEを活用している。 1 行事があるたび、保護者に写真やメッセージを送っている。
定期的に連絡等を行うことや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5	0	折を見て保護者面談の実施を試みている。ニーズがあれば保護者面談を定期的にこなしている。	こちらからも保護者からもアプローチの機会は少ないと思う。
個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4	1	会社として行なっている	こどもや保護者から個人情報の取扱いについて周知している。
障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4	1	会社として行なっている	こどもや保護者から個人情報の取扱いについて周知している。
事業所の所在地に地域住民を招待する等、地域に関わった事業運営を行っているか。	3	2	訓練は実施している	マニュアルについては知らされていない
事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	3	2	訓練は実施している	マニュアルについては知らされていない
必要に応じて、関係機関や地域住民との連携を図り、必要に応じて訓練を実施しているか。	5	0	BCPについては不明だが、訓練は実施している	BCPについては不明だが、訓練は実施している
事前に、商家や予防接種、がん検診等のこどもの状況を把握しているか。	5	0	BCPについては不明だが、訓練は実施している	BCPについては不明だが、訓練は実施している
食費アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	3	2	BCPについては不明だが、訓練は実施している	BCPについては不明だが、訓練は実施している
安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他の必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4	1	LINEを活用している。 1 行事があるたび、保護者に写真やメッセージを送っている。	LINEを活用している。 1 行事があるたび、保護者に写真やメッセージを送っている。
こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	3	2	不明	不明
ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	3	2	研修機会が確保されている	研修が職員にとって自分自身の支援、活動振り返りきっかけとなっているか不明。 実際に虐待が起きた時の対応が不十分だろうなと感じることが多い。
虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4	1	虐待研修は様々なテーマで受けることはできた。	虐待研修は様々なテーマで受けることはできた。
どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	4	1	不明	不明

公表 事業所における自己評価総括表

○事業所名	Growupハレ
○保護者評価実施期間	2025/3/24-2025/3/27
○保護者評価有効回答数	8
○従業員評価実施期間	2025/3/24-2025/3/27
○従業員評価有効回答数	5
○事業者向け自己評価表作成日	2025/3/30

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	計画作成と説明プロセス	個別支援計画の作成や運営規程等の説明は、手順に沿って実施できていると認識しています。	今後も計画作成プロセスを維持しつつ、保護者の意向をより丁寧に反映できるよう努めます。計画内容について職員間の共通理解を深める機会も設けていきます。
2	日々の記録と情報伝達の仕組み	朝礼や日報、記録システム等を通じて、子どもの状況や支援内容を職員間で共有する仕組みは整っています。	記録の質を高め、日々の気づきを確実に共有し支援改善に繋げられるよう努めます。共有された情報に基づき、一貫性のある支援を提供することを目指します。
3	進路移行への意識	学校卒業後の進路移行を見据え、利用者への情報提供など、できる範囲での支援を行っています。	今後、進学や就労など多様な進路に対応できるよう、関係機関との連携強化や情報収集に努めます。早期からの計画的な移行支援のあり方を検討していきます。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者への情報開示と信頼関係	事業所の活動スペースや安全対策について、保護者の方々に十分な情報提供ができておらず、「わからない」という回答が多い状況です。個人情報の取り扱いミスも発生しています。	事業所見学の機会や、写真などを活用した情報提供を検討します。安全計画やマニュアルの内容を分かりやすく伝え、個人情報保護ルールの再徹底と研修実施に努めます。
2	慢性的な人員不足とその影響	きめ細やかな支援の提供や安全確保に困難を感じています。職員数、ドライバー増員の必要性を感じている。	業務の優先順位付けや効率化、職員間の連携強化によって、支援の質と安全性の維持に努めます。
3	組織風土と意思決定プロセス	職員間で計画や評価、研修等に関する認識にばらつきがあり、意見交換が一方的になるなど、風通しの良い組織とは言えない側面があると感じています。	定期的な会議で全職員が平等に発言しやすい雰囲気づくりに努めます。計画や評価のプロセスを透明化し、全員で共有する機会を設けます。研修参加機会の公平性確保にも取り組みます。